

増田 幸子教授 略歴と業績

I. 略 歴

1958年7月	千葉県に生まれる
1982年3月	法政大学文学部日本文学科卒業
1982年4月	日本能力開発センター 編集部
1983年5月	千葉県立野田高等学校 国語非常勤講師
1986年5月	マレーシア国立マラヤ大学予備教育課程 日本語専門家 (国際交流基金より派遣)
1989年6月	国際交流基金日本語国際センター 日本語客員講師
1993年3月	大阪大学大学院言語文化研究科博士前期課程修了
1997年3月	大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程単位取得退学
1997年4月	立命館大学 日本語常勤講師
2000年8月	大阪大学言語文化学博士学位取得
2001年4月	立命館大学産業社会学部助教授
2007年4月	立命館大学産業社会学部教授
2024年3月	立命館大学定年退職
2024年4月	立命館大学特別任用教授・名誉教授

(主な学内役職歴)

2008年4月～2009年3月	産業社会学部(大学院担当) 副学部長
2008年4月～2009年3月	大学院委員
2008年10月～2010年3月	大学院教育改革支援プログラム(大学院GP)の取組代表者

II. 専門分野

専門分野	言語文化学
担当科目	映像表現論, 映画と社会
学 位	言語文化学博士(大阪大学, 2000年8月)
研究課題	映像メディア研究, 映像メディアの表象分析, 日本のテレビドラマ研究
所属学会	日本比較文化学会, 日本映像学会

III. 主な研究業績

著 書

1. (分担執筆)『Study Guide メディア・リテラシー [ジェンダー編]』(鈴木みどり編, リベルタ出版,

- 2003年4月) 53-60, 64-68頁
2. (単著)『アメリカ映画に現れた「日本」イメージの変遷』(大阪大学出版会, 2004年2月)
 3. (分担執筆)『『日本事情』の授業の実際』『改訂新版/日本語教師養成講座テキスト1 文化・社会・地域』(佐治圭三・真田信治監修, 東京法令出版, 2004年6月) 48-58頁
 4. (共訳)『メディア・アクション・プロジェクト:参加型学習とまちづくりのためのメディア実践モデル』(解放出版社, 2006年3月)
 5. (分担執筆)『留学生・日本人学生のための一般教養書 国境を越えて [本文編] 改訂版』(山本富美子編, 新曜社, 2007年5月) 89-97頁
 6. (分担執筆)「少女マンガで語られた『戦争』:花と夢だけではない少女マンガの世界」『はじめてのメディア研究』(浪田陽子・福間良明編, 世界思想社, 2012年4月) 229-235頁
 7. (分担執筆)『最新 Study Guide メディア・リテラシー [入門編]』(鈴木みどり編, リベルタ出版, 2013年4月) 86-92頁
 8. (分担執筆)「第5章 終戦記念番組としてのテレビドラマ」『メディア・リテラシーの諸相』(浪田陽子・柳澤伸司・福間良明編, ミネルヴァ書房, 2016年3月) 168-181頁

論 文

1. (単著)「アメリカ映画における異文化接触のカリキュラム:1980年代の日本を題材とした作品を中心に」(『大阪大学言語文化学』(3), 1994年3月) 35-49頁
2. (単著)「アメリカ映画に現れた『日本』のイメージ」(『言語文化学会論集』(2), 1994年5月) 135-152頁
3. (単著)「日本語教師養成における異文化間コミュニケーション訓練とその問題点」(『言語文化学会論集』(6), 1996年5月) 335-344頁
4. (単著)「アメリカ映画に現れた『日本人女性』のイメージ: Interracial Romance の成功例から見えてくるもの」(『女性学年報』(17), 1996年10月) 15-25頁
5. (単著)「安李試論:映画製作者としての分別と多感」(『比較文化研究』(33), 1996年12月) 70-80頁
6. (単著)「マレーシア語を母語とする日本語学習者の発音上の問題」(『日本語・日本文化研究』(4), 1996年12月) 26-37頁
7. (単著)「カナダにおけるメディア・リテラシー教育」(『情報の科学と技術』48(7), 1998年7月) 396-401頁
8. (単著)「語られる『日本』 アメリカ映画の中のせりふを中心に」(『比較文化研究』(43), 1999年7月) 77-89頁
9. (単著)「アメリカ映画の中の日本人像: 1942~1945年の戦争映画を中心に」(『立命館言語文化学研究』11(2), 1999年12月) 209-217頁
10. (単著)「日韓合作ドラマが描く『恋愛』」(『比較文化研究』(69), 2005年10月) 47-59頁
11. (単著)「北京オリンピック開会式テレビ中継の日中比較 (上)」(『立命館産業社会論集』45(2), 2009年9月) 61-73頁
12. (単著)「北京オリンピック開会式テレビ中継の日中比較 (下)」(『立命館産業社会論集』45(3), 2009年12月) 53-67頁

13. (単著)「少女マンガで語られた『戦争』」(『比較文化研究』(98), 2011年9月) 171-183頁
14. (単著)“The War’s End:15 August 1945 in NHK’s morning dramas from 1966 to 2019” (*East Asian Journal of Popular Culture*, 5(2), 2019年11月) 127-143頁
15. (単著)「NHK 連続テレビ小説における『1945年8月15日』の記憶(上)」(『立命館産業社会論集』56(4), 2021年3月) 21-31頁
16. (単著)「NHK 連続テレビ小説における『1945年8月15日』の記憶(下)」(『立命館産業社会論集』57(1), 2021年6月) 113-130頁
17. (共著)「東京2020オリンピック開会式の中継放送における語り:日本・中国・韓国を中心に」(『立命館産業社会論集』57(4), 2022年3月) 123-139頁

その他

1. (単著)「メディア・リテラシーの現在と未来〈7〉注意深く見てクリティカルに考える」(『放送レポート』(167), 2000年11月) 62-66頁
2. (単著)「日本の新聞」『日本事情テキストバンク [CD-ROM 版]』(東京外国語大学留学生日本語教育センター, 2003年9月)
3. (単著)「仕事としての『日本人女性』」『労働のジェンダー化』(姫岡とし子・池内靖子・中川成実・岡野千代編, 平凡社, 2005年3月) 309-313頁
4. (単著)「同朋随想 コンビニ化するメール・コミュニケーション」(『同朋』(663), 2006年7月) 8-9頁
5. (単著)「今、鈴木みどりさんの言葉を振り返る」(『メディア情報リテラシー研究』3(1), 2021年11月) 32-35頁

Ⅳ. 社会における活動

1997年10月～現在

NPO 法人 FCT メディア・リテラシー研究所 会員 (2001～2003年 理事)

